

# 長原遺跡

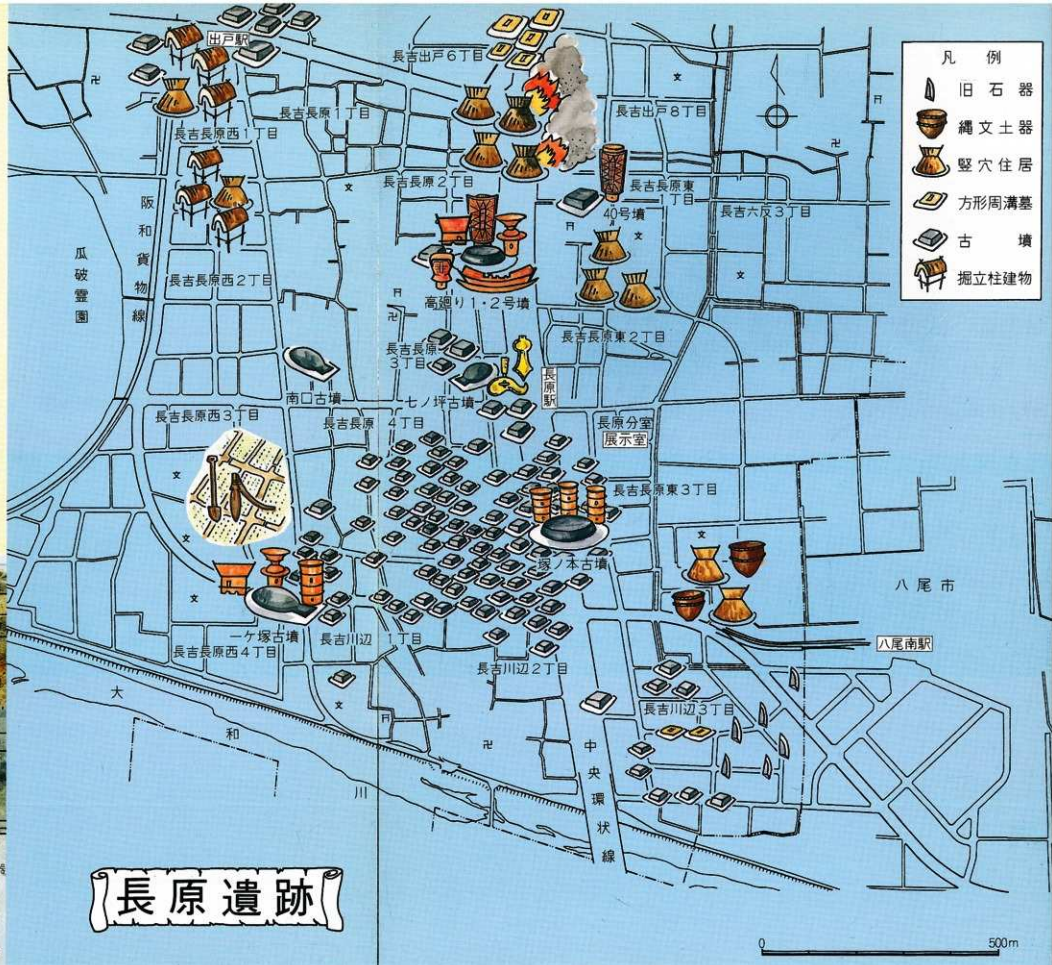


財団法人 大阪市文化財協会

## 長原遺跡の調査

長原遺跡は1973年に、地下鉄谷町線の延伸工事に伴う発掘調査で見えられました。遺跡は松原市域から北に伸びる河内台地上に広がっており、その範囲は平野区長吉長原を中心に東西約600m、南北1km以上と考えられます。これまでの発掘調査で、旧石器時代の人々が使った石器をはじめ、縄文時代から江戸時代にかけての住まいや墓、水田のあとなどが見つかっています。

現在、長原遺跡のある地域は、高速道路や地下鉄が通り、大昔の人々が生活していたころの風景とは大きく変わりました。しかし、今の地面の下を発掘調査すれば、人々が生活した過去の地面が地層として現れます。長原遺跡の地層は、いろいろな情報の入ったタイムカプセルといえるでしょう。



長原遺跡南部の地層

# 旧石器時代



旧石器時代の出土状況



調査風景



ナイフ形石器・有茎尖頭器

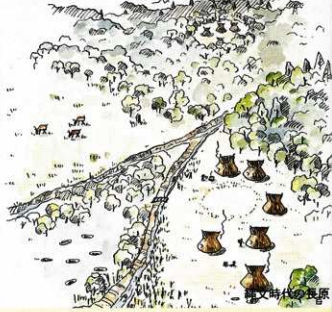
石をたたき割って道具を作るには、綿密な計算と、熟練したうが必要でです。旧石器時代の人びとは狩人であると同時に、石器作りの名人でもありました。

今から1万年以上もさかのぼる旧石器時代の人々は、石を割ったり動物の骨を加工して道具を作っていました。長原遺跡の東南部からは、サヌカイトという硬い石から道具を作っていた場所がたくさん見つかり、最も古いものは2万数千年前以上と思われます。このような道具を使って、動物を追い求めた生活のようすが少しずつ明らかになってきました。



石 鏃

# 縄文時代



縄文時代の長原

縄文時代の終わりのころの竪穴住居などの生活のあとや墓地在、南部を中心に残されています。ここで見つかった縄文時代最後の土器は、この地の名をとって「長原式土器」とよばれています。もみのあとのついたものもあり、弥生時代への移りかわりのころの土器として注目されます。また、それ以前の石器や土器もあり、人々が生活していたことがわかります。

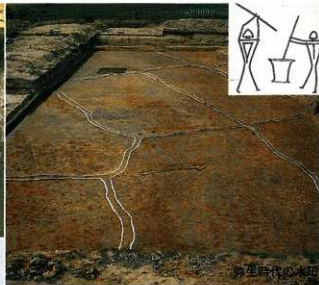


長原式土器

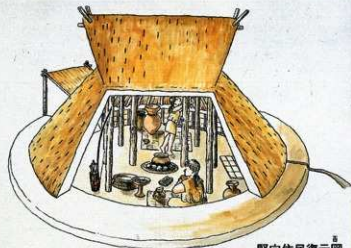
# 弥生時代



竪穴住居跡



弥生時代の水田



竪穴住居復元図



方形周溝墓はこの時代を代表する墓のひとつ。死者をうめる四角い土盛りの外に、溝がとりまいています。

稲作が始まり金属の道具が使われた弥生時代は、今から2300年～1700年前ごろにあたります。長原では長吉長原東1丁目一带に、弥生時代中ごろからの大集落があり、円形や四角形をした竪穴住居が見つかっています。また、その北側には方形周溝墓とよばれる墓が数多く造られ、南には土器作りの粘土を掘った穴が広い範囲に見られます。長吉川辺3丁目にもこのころの墓があり、水田も見つかっています。



土器棺



# 古墳時代



短甲形埴輪と草摺形埴輪



高麗り埴輪



壺形埴輪

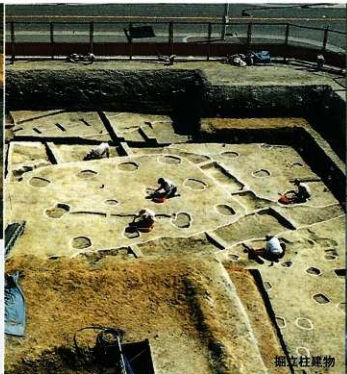


船形埴輪

古墳時代を代表するものは、数百の古墳とそれを造った人々が生活したムラです。古墳はすべて地下から見つかり、ほとんどが四角いかたちをした方墳です。大きさは一辺が数mから10数mです。古墳の数はまだ見つかっていないものを含めると400とも500ともいわれます。また、当時の人々が暮らした家やムラを囲む溝などとともに、生活に使った土器、建築材料や土器作りの道具も見つかっています。人々は、南に広がる古市の大古墳をながめる日々を送ったことでしょう。



古墳時代の土器



馬具

七ノ坪古墳は、帆立貝形をした前方後円墳です。この古墳からは遺体を納めた棺やそれをおおった石室、金メッキをした馬具や多くの土器が見つかりました。

古墳時代の人々が暮らした建物には、掘立柱建物と竪穴住居とがありました。掘立柱建物には家以外に倉庫として使われたものもあります。

掘立柱建物

## 飛鳥時代から室町時代

「条里」という碁盤の目のような土地区画が行われ、整然とした水田が作られました。洪水が繰り返し襲い、土砂がすべてを埋めつくしましたが、人々は再び水路を引き、田を耕しました。大自然とたたかった人々の苦勞がしのべれます。彼らの生活のようを知る手がかりには、これまで見つかったたくさんの土器があります。飛鳥時代から室町時代にかけての杯・皿・椀などの食器、煮炊きや調理に使う甕・土釜・すり鉢などの移りかわりがわかります。



土釜を井筒にした井戸



奈良～平安時代の水田跡と農具



平安～室町時代の土器と陶物



長原展示室

・関係施設

- 財団法人 大阪市文化財協会長原分室内  
長原展示室

これまでの発掘調査によって見つかった品々を、長原遺跡を中心に、時代別に展示しています。小さな展示室ですが、調査と併行して速報性をもたせ、ずいじ展示替えも行う予定です。見学は無料、ただし前日までに電話連絡が必要です。

- ㈲平野区画整理記念会館

東住吉区中野2-7-16  
TEL 06(702)0513

地下鉄谷町線の敷設工事で見つかった土器を主に展示しています。

- 大阪市瓜破土地改良区瓜破会館

平野区瓜破東6-1-41  
TEL 06(707)2032

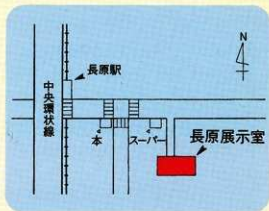
長原遺跡に隣接する瓜破遺跡から見つかった土器を展示しています。

・長原遺跡への足

地下鉄谷町線長原駅下車、徒歩が便利です。

・参考書

- 大阪市文化財情報『葦火』（隔月刊行）  
『長原遺跡発掘調査報告』Ⅰ～Ⅳ  
『長原・瓜破遺跡発掘調査報告』Ⅰ・Ⅱ  
『よみがえる古代船と5世紀の大坂』



財団法人 大阪市文化財協会長原分室

〒547 大阪市平野区長吉長原東3-2-5  
TEL 06-790-5541  
FAX 06-769-2025

『長原遺跡』 1991年11月16日  
編集・発行 財団法人 大阪市文化財協会  
〒540 大阪市中央区法門坂1-1-35号  
大阪市立中央青年センター6F  
TEL 06-943-6833・FAX 06-920-2272